

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉に出会うために					
授業びらき オリエンテーション/ 世界はうつくしいと	1	○国語の授業の受け方、学習の仕方を理解する。 ○ノートの取り方や予習復習の仕方を紹介をする。 ○漢字練習や文字の書き方などの指導をする。 ○各自の自己紹介をする。 ○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	○授業への取り組み方について理解できている。 ○ノートの取り方や筆順、文字の形などに注意して正しく「書く」ことを意識している。 ○漢字ノートの使い方を理解し、漢字を正しく理解しようとしている。 ○自分のことを表現している。	○国語の授業に取り組むための準備をしている。 ○知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を身につけようとしている。 ○漢字を正しく覚え、思考力・表現力を伸ばそうとしている。 ○プレゼンテーション能力を高めようと工夫している。	○ノートを取るなどして、理解を深めようとしている。 ○授業、家庭学習などの目標を立て、実際に取り組んでいる。 ○漢字ノートを活用し、漢字を正しく覚えようとしている。 ○表現力をつけ、積極的に発表に取り組んでいる。
1 深まる学びへ	握手、漢字に親しもう1	○小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。	○物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
	意見を聞き、適切さを判断する	○提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	○聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
	文法への扉1	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。	○既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。	○既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。
	説得力のある構成を考えよう	○提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	○相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。	○実際に敬語を使う場面を想定しながら相手や場に応じた表現を考え、敬語について理解を深めている。	○相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
学びて時に之を習ふ	2	○漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見もち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて	3	○論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。	○進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン 具体化・抽象化	1	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、具体と抽象の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。	○具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。
	論理の展開を意識して書こう	4	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	○論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
	漢字1熟語の読み方、漢字に親しもう2	1	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	○漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 言葉とともに	俳句の可能性、俳句を味わう	○俳句を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。	○進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
	言葉の釣り糸を垂らす	○文章を読み、実生活への生かし方を考える。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	○筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。	○進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。
	実用的な文章を読もう／報道文を比較して読もう	○報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。	○情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○情報の発信日時、発信源、情報を伝える目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。	○積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 状況の中で	読書を楽しむ	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	○進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
	挨拶——原爆の写真によせて	2	○詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。	○詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
	故郷	5	○小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	○文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	[推敲]論理の展開を整える	2	○関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	○目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。
5 自らの考えを	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字2 漢字の造語力	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。	○慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
	複数の意見を読んで、考えよう	3	○論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	○三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	考えを効果的に伝えよう	5	○関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	○自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
	漢字に親しもう3、文法3	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。	○「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。	○単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6 いにしへの心を受け継ぐ	聴きひたる 初恋 和歌の世界	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○言葉の響きやリズムを味わいながら詩に親しんでいる。	○進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
	君待つと——万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から つながる古典／古典名作選	5	○和歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。	○進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。
7 価値を生み出す	それでも、言葉を	4	○論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	○言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
	話し合い	1	○互いの考えを生かしながら議論や討論をする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
	合意形成に向けて話し合おう	4	○互いの考えを生かしながら議論や討論をする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	本は世界へと扉	1	○ノンフィクションを読み、理解したことや考えたことについて討論したり、文章にまとめたりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。
漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	○文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
8 未来 へ向 かっ て	温かいスープ アラ スカとの出会い	6	○随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	文法 一年生、二年 生の復習	3	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○単語の類別について理解している。	○「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。	○今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	初日	1	○詩歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値について考えをまとめようとしている。
	漢字に親しもう5	1	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	○音訓や部首、熟語の構成などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしている。
	律儀な桜 私を束ね ないで	5	○詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	国語の力試し	3	○互いの考えを生かしながら議論や討論をする。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。	○粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。